

令和6年9月

9月補正予算の概要

荻 田 町



補正予算編成の基本的な考え方

保育所等への給食支援費補助等による「次世代を担う子どもたちへの投資」や公共施設の老朽化対策等の将来需要に備え、基金への積み立てを行う「公共施設マネジメントの推進」、事業所の新設または増設をする事業者に対する奨励金の交付等による「活力ある産業・観光の振興」を柱とした予算編成を行いました。

補正予算の柱

1. 次世代を担う子どもたちへの投資	保育所等への給食支援費補助や放課後児童健全育成事業拡充のための予算額の追加を行います。	18,279千円
2. 公共施設マネジメントの推進	公共施設等の老朽化対策に向け、将来多大な財政負担が生じないよう公共施設整備基金へ積み立てを行います。	638,457千円
3. 活力ある産業・観光の振興	「企業立地促進奨励金」等の交付や北九州空港に新たな電照広告シートを設置するなど宿泊税交付金を活用した観光振興を行います。	8,451千円

その他、軟骨伝導イヤホンの購入費や補助金返還金の増額等334,890千円を計上しています。

予算提案額の概要（総額）

議案第53号 苅田町一般会計補正予算（第4号）

単位：千円

補正前	補正額	補正後
17,513,316	981,339	18,494,655

補正予算の財源

	補正前	補正額	補正後
国庫支出金	2,969,885	6,967	2,976,852
県支出金	1,379,777	3,833	1,383,610
繰入金	956,674	258,097	1,214,771
繰越金	45,760	689,896	735,656
諸収入	236,737	22,546	259,283

1. 次世代を担う子どもたちへの投資

■ 【新規】 保育所等給食支援費補助

8,278千円 子育て・健康課
(県補助 4,136千円)

保育所において、これまで通りの栄養バランスや量を保った給食の実施のほか、保護者の経済的負担の軽減を図るため、令和6年4月分から令和7年3月分の給食材料費について、価格高騰に伴う費用の一部に対し、補助金を交付します。

1施設あたり補助額＝基本単価（※）×10月初日時点の利用児童数×月数

（※）0～2歳児：1,100円、3～5歳児：650円

・物価高騰等で給食費の値上げを行っていない園を対象とする。

	延べ人数 (町内保育園等9園)	金額
0～2歳 主食費 450円 副食費 650円	4,264人	4,691千円
3～5歳 副食費 650円	5,518人	3,587千円



1. 次世代を担う子どもたちへの投資

■【拡充】放課後児童健全育成事業の拡充

9,070千円

生涯学習課

(国庫補助 3,023千円、県補助 3,023千円)

「こども未来戦略」（令和5年12月22日閣議決定）において、「放課後児童クラブの安定的な運営を図る観点から、2024年度から常勤職員配置の改善などを図る」こととされたことを受けて、職員配置を充実させる放課後児童クラブに対して委託料を増額します。これにより、放課後児童支援員の人材確保による安定的な運営と放課後児童クラブにおける利用児童の生活の安定が期待されます。



放課後児童支援員
※放課後児童支援員は、
条件に該当した方が
一定の研修を修了する
必要があります。

放課後児童支援員
もしくは補助員



常勤職員
(放課後児童支援員)

常勤職員
(放課後児童支援員)

【効果】

- ・放課後児童支援員を常勤職員とすることにより、放課後児童クラブの安定的な運営に繋がる。
- ・常勤の放課後児童支援員が2名になることにより、放課後児童クラブにおける児童の生活の安定に繋がる。

2. 公共施設マネジメントの推進

■【新規】公共施設整備基金積立金

638,457千円

財政課

今後、町税収入において大きな伸びが期待できない中、少子高齢化に伴う社会保障費の増加に加え、公共施設の老朽化対策等の新たな行政課題に直面しています。そのため、将来多大な財政負担が発生しないよう、中長期的な財政見通しを立て、計画的に財政運営をしていくことが必要となっています。そこで、将来需要に備え、令和5年度の決算剰余金のうち、6億3,845万円を公共施設整備基金へ積み立てます。

公共施設整備基金への積立

決算剰余金のうち1/2以上を町債の繰り上げ償還の財源及び基金へ積立

令和5年度決算剰余金： 12億7,691万円

12億7,691万円の1/2： 6億3,845万円

【参考】

公共施設整備基金前年度末残高：37億5,953万円

(積立金の使途例)



荻田中学校長寿命化改修



荻田町役場新庁舎建設

3. 活力ある産業・観光の振興

■【継続】企業立地促進奨励金	5,212千円 (企業立地等奨励金基金繰入金 5,212千円)	交通商工課
■【継続】雇用促進奨励金	900千円 (企業立地等奨励金基金繰入金 900千円)	交通商工課

事業の目的・概要

本町における町民の雇用促進・町内の産業振興などを目的として、事業所の新設または増設をする事業者に対し、「苅田町企業立地促進条例」に基づき奨励金を交付するものです。

奨励金名	今回該当要件	交付額
企業立地促進奨励金	【増設／製造業】 1 件 ・製造業の事業所を増設 ・増設に係る投下固定資産総額5,000万円以上かつ増設に係る新規常用雇用者2人以上（中小企業） ※上記要件には更に詳細な要件があります。	5,212千円 ※増設に係る固定資産税相当額
雇用促進奨励金	【増設／製造業】 1 件 ・製造業の事業所を増設 ・増設に係る投下固定資産総額5,000万円以上かつ増設に係る新規常用雇用者2人以上（中小企業） ※上記要件には更に詳細な要件があります。	900千円 ※新規常用雇用者1人につき300千円

3. 活力ある産業・観光の促進

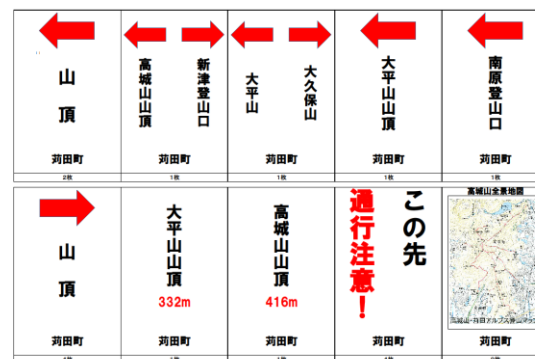
■【新規】高城山登山道看板制作業務委託料	1,174千円 (宿泊税交付金基金繰入金)	交通商工課 1,174千円)
■【新規】北九州空港電照広告シート制作業務委託料	170千円 (宿泊税交付金基金繰入金)	交通商工課 170千円)

○高城山登山道看板制作業務委託料

道案内看板や危険個所における注意喚起看板を制作します（令和5年度に実施した「高城山登山道現状調査確認業務」報告書に基づき制作）。

【看板内容及び数量】

- ・高城山全体地図看板 9枚
- ・道案内看板 12枚
- ・注意喚起看板 4枚



○北九州空港電照広告シート制作業務委託料

令和5年度にリニューアルした観光ポスターを活用して新たな電照広告シートを制作します（インバウンドに対応するため、シートに添付しているQRコードから観光案内を多言語で行う）。

【電照広告シート2枚制作】

- ・イベント観光、町空撮
- ・産業観光、自然風景

